

起因物、事故の型：乗用車、バス、バイク - 激突の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	12~13	バスから降りようとバスのステップに左足を下ろしたとき、ステップ上が凍結していたため足が滑り、反動で左前腕をステップの角に強打し骨折した。	59	60201	—
1	8~9	朝のお迎えで、利用者宅に着き乗っていたハイエースのスライド式ドアを開け、補助席の椅子を上げている際、坂道だったため、スライド式ドアが勢いよく閉まり、左足にぶつかった。	54	130201	10~29
1	3~4	リンゴ荷受作業中、トラック荷台から降りた際、右足の踵を強打し、痛みが発生した。	41	80109	500~999
1	7~8	出勤し、駐車スペースにバックで車を駐車しようとした際、ギアをバックに入れようとしたところ足が滑り、アクセルを踏んでしまい急発進したため、正面の木にぶつかり、両ひざを強打した。	56	10309	30~49
1	18~19	被災者は、出勤のため構内移動用のバスに乗車していた際、バスが幹線道路脇のH鋼支柱に衝突し、その衝撃で首及び右頬をぶつけ被災した。	36	11502	10000~
1	11~12	店舗駐車場入り口付近にて、軽自動車で駐車場に入ろうとして、駐車場入り口右側のバリカーに衝突した。ハンドルを切る動作が甘かった為、首の捻挫とバリカーの破損を負った。	22	80209	10~29
2	6~7	当事務所1階倉庫内で現場に出かける準備をし、軽ワゴンボックス車の後方ドアを閉める時に下げた弾みでドア左下角を右額に強く打ち6針縫合した。（後方ドア左側に立ち右手でドアを下げた。）	24	30201	1~9
		営業所構内に駐車しているバスの仕業点検中、エンジンの上部にある冷却水のキャップを開けようとしたが、バス後方の地面に段差があり、被			

2	9~10	災者の立っている位置がバスより約20cm低くなっており、手がキャップにギリギリ届くが作業しづらかった為、リアバンパーにのぼった。冷却水の有無の確認後、約85cm下の地面に飛び降りた際、着地に失敗し、負傷したもの。	56	40202	100~ 299
2	12~13	帰局途中で直進中右側から急な突風が吹いてきて、左に流され、道路の縁石に乗り上げ、近くの電柱に衝突し、左足を強打し、病院に救急搬送された。	35	110101	100~ 299
2	18~19	施工現場から社用車で営業所へ戻り、左後部座席から車を下りて助手席側に小走りで移動していた際、同乗者（同僚）が同タイミングで開いた助手席側のドアに衝突し受傷した。	26	150109	10~ 29
2	10~11	洗車ラインにて新車の拭き上げ作業中フロントガラス内側を拭いている時、インナーミラーで死角にありスマートアシストセンサーがあるのに気付かず拭き上げしようとしたため右手が当たり中指を骨折した。	61	80202	10~ 29
2	14~15	当社車庫内にて、運転席に座り、助手席に置いてあった荷物を動かそうとした際、運転席の肘置き部分に左脇腹をぶつけ、負傷したものである。	46	50101	1~9
2	5~6	バイクで朝刊配達中、対向してきたバイクを避けるため段差に乗り上げた際、勢い余って畑に転落した。その際、首と腕を負傷した。	65	80205	30~ 49
2	11~12	訪問マッサージ業務中、お客様の所から、次の訪問先への移動中、ドライバーが運転する車が他の走行中の車とぶつかりそうになった為、左へハンドルをきり、急ブレーキを掛けた。その時、被災者は後部座席にて、横になっており、急ブレーキによって、前座席と後部座席の間に転がる形になり、体を打ってしまった。	43	130109	1~9
3	14~15	印刷機の調整中に印版に付着した異物を取り除くために、回転中の印版に触れた手が誤ってインキ転昇ロールとの間に挟み込まれ指の先端部分が断裂した。	43	140201	10~ 29
		車庫に於いて大型バス入口ドアを開ける時に、いつも朝エアが多少抜け			

3	6~7	ている為すぐに開かないため、いつもと同様にドアのスイッチを入れ前輪の車止めを外し振り返った所、いつになく早くドアが開いた為、ドアの端が左顔面と目尻の横に当たり負傷した。	66	40202	10~ 29
3	11~12	駐車場で、次のお客に会うため電話をかけていたとき、後の荷物を取ろうとして、座席の肩口の方から左腕を伸ばした。もう少しで届きそうだったので、反り返って思い切り体を伸ばしたところ、左の腰部に座席の肩口が入り込み、激痛がはしった。	45	80209	1~9
4	13~ 14	道の駅駐車場で来場車両に対する誘導業務中に、来場車両を空駐車場へ指示し、後進してきた車両を避け切れず、同車両の後部ボディと接触して転倒し、車両の後部ボディに押された。	69	150101	300~ 499
4	3~4	朝刊配達の為、雨の中バイクで高台にあるお客様の自宅に行った時、急な上り坂の玄関前道路脇にバイクをとめようと、左側に降りてスタンドを立てようとしたが雨と新聞の重みでバイクが後ずさり、あわてて力いっぱい前に押そうとしたが、玄関前石垣の壁にバイクハンドルつかんだまま後ろ向きに体当たりする。バイクは倒れ石垣に強打した時の衝撃で立ち上がれなくなり、背中、お尻、左胸を打撲した。	68	80205	10~ 29
5	15~ 16	営業所構内にバスを駐車し、球切れしていた前照灯を交換し、点灯確認のため運転席に向かおうとバスのステップに右足をのせた際に踏み外してバランスを崩し、右手小指をステップの手摺に強打した。	38	40202	100~ 299
5	19~ 20	車庫に帰庫後、一度車両後方まで車内点検を行った後運転席に戻り運賃箱横に置いていたカバンを取ろうとした際、足がもつれ右腕を運転席横の手摺りにぶつけた。	43	40202	300~ 499
5	9~ 10	お客様をお迎えに上がり、ワンボックス車のトランクに乗客の荷物を積み込んだ後、後ろに下がろうとした時に、半開きになっていたリアゲートに頭部を強打し、転倒する。	47	40201	300~ 499
5	4~5	中学校の巡回警備中、深夜に警備車両を停止し駐車場で仮眠休憩をとるため、運転席のシートを倒して仮眠をとり、朝方に車両シートを引き上げ、仮眠休憩を終えて起き上がる際に、車両のハンドルに右足指を打	49	170201	100~ 299

		ちつけ負傷した。			
6	12~ 13	駐車場において、業務使用中のワンボックスカーの後部ドアより荷物の積み込み作業完了の後、ドアハッチを上部から勢いよく閉めた際、ドアの左側の縁に右側頭部が接触し、裂傷を負った。	43	11709	1~9
6	8~9	老人介護施設（デイサービス）に利用者を搬送し、利用者の降車が完了したところ、利用者の降車をしていた当該被災者が車から降りる為、車と（車椅子用）オートリフターの間にある約30cmの隙間を跨いでオートリフターの上に着地したところ、足を踏み外し、左足首を「くの字」に曲げて着地し、両手がフリー状態の為、曲がった足首に全体重が加わり、左足首を脱臼骨折した。	59	130201	30~ 49
6	10~ 11	タクシーの異常箇所確認の為、後部座席に乗っている時、運転者が急ブレーキを掛けた際、前座席の防護板に右目を当てて負傷した。	48	40201	50~ 99
6	7~8	退社時に駐輪場から原付バイクで場内出口方面に走行中、場内に進入したトレーラーがトラックヤードに左折した時、退社中のバイクと接触し、巻き込まれた。	62	10806	100~ 299
7	15~16	社用車を運転中に停車していた車に衝突をして、骨折してしまった。	72	80209	1~9
7	7~8	負傷の3ヶ月前に自宅で左足の皿の負傷しており、左足をかばって生活をしていたが、調理場でテーブルを拭いていたところ、振り返った瞬間にバランスを崩し転倒し、左足太ももを骨折した。	48	100101	1~9
7	12~13	バス駐車後（乗客なし）、運転席ドアから降車した時右足かかとを地面に強打した。該当車両が他の車両に比べ車高が高いため、ステップに足を掛けて降りるべきところを、掛けずに飛び降りる格好となった。	67	40202	10~ 29
7	18~19	配達業務をしている時、不注意により反対車線に越えて相手の車にぶつかった。相手の過失はない。	38	80209	10~ 29
		障がい者支援施設の利用者をワンボックスカーで迎えに行き、到着後に車内から後方の扉を開け、転倒防止板（30cm位の鉄板で以下?とする）をまたいで、バンパーに足を掛け、降りる際に踏みはずした。地面に			100~

7	9~10	足が届かず?で陰部を打撲した後、車外に転倒。内出血して当日緊急で外陰部の血腫除去手術を行う。リフトは基本外からリモコンを操作して降ろす。リフトが降りたら?は倒れてスロープの役割となる。利用者が多い場合、後方からしか乗り降りできない。	52	130201	299
7	4~5	深夜の新聞配達中に、バイク（50cc）ごと、道路の縁石に乗り上げて横転した。検査の結果、右足親指の骨折と分かった。	58	80409	10~ 29
7	16~ 17	会社の作業ヤード内で作業中、蜂に刺されそうになりかんだ時に後の車両に尾てい骨をぶつけて負傷した。	56	30309	10~ 29
7	1~2	スクーターにて朝刊を配達中、スクーターを止め、配達先のポストに新聞を入れ、スタートしようとスタンドを左足で強く蹴ったところ、スタンドに左足小指を打ちつけ負傷した。通常、バイクに乗ったままスタンドを左足の裏側で蹴り上げ、スタンドを上げる。	38	80205	10~ 29
7	3~4	当社タクシー運転者は、アルコールチェックの点呼を終えて業務が終了した後、私服に着替えて事務所内営業所中3階車庫にて、業務指示のない洗車を行った。その後、車両の位置が他の車の邪魔になると思い、運転者側ドアを開けた状態で後退したところ、本人によれば、アクセルを強く踏み過ぎて、柱と運転者側のドアの間に右腕が挟まり負傷したとのことである。	70	40201	100~ 299
7	11~ 12	バイクで配達中、歩道を通って配達先へ向かうため左折した際、歩道と道路の段差（20cm程度）の目測を誤り、つま先を段差にぶつけ、左第2趾を骨折した。	26	110101	300~ 499
7	17~ 18	作業用車両置き場として借りている会社駐車場で、帰宅のために車を入れ替えていた際に、アクセルとブレーキを踏み間違えて壁に激突し、頭部と背中を強打して負傷した。	46	150101	30~ 49
7	14~ 15	局内の車両発着台で、軽四輪車の荷台から荷物を降ろすために車に近寄ったとき、開いていたハッチドアの先端部分に頭をぶつけ負傷した。	69	110101	100~ 299
		リネン業務終了後、自家用車で帰宅途中、9番ホールティグラウンド付			

7	18～ 19	近のカーブを過ぎた辺りで、車が異常を起こし、ブレーキおよびハンドルが効かなくなり、8番ホールのグリーン付近の樹木に衝突して止まった。その後、車で通りかかった従業員が発見し、救急車で搬送された。	64	140301	30～ 49
7	7～8	鋼材を納入するため納入先に初めて行く際、上り坂で一担止まり、地図を見て確認後スタートしようとしたところ、クラッチとアクセルが上手に効かず、上下にノッキングしたため、頭が車の天井に当たり、その反動で椅子に叩きつけられ、腰を強打した。	49	40309	1～9
7	14～ 15	車内事故防止教習として、目を閉じながら立った姿勢での急停止体感教習を行った際、事前に注意喚起をした上で助役がバスを発車し、約30kmの直進状態から軽くハンドルを右に切り、急停車を試みた際、つり革から手を離してしまい、前方のガード棒に左脇腹を打った。	55	40202	50～ 99
7	12～ 13	バイクで集金中、暑さで気分が悪くなったため、一旦バイクを停めて休んだ。再度出発しようと、バイクのセルでエンジンを掛けたが掛からず、キックでエンジンを始動したところ、アクセルを戻せずにそのまま発進し、電柱に衝突し、背骨を骨折した。	66	80205	10～ 29
9	15～ 16	バンカー法面清掃作業中に燃料を補給する為、作業者の荷台に背負いブローアーを置き、燃料タンクを取ろうとしたところ、アクセルレバーが胸に当たった。	65	140301	50～ 99
9	9～ 10	デイサービス送迎車（10人乗り、1BOXカー）に利用者を乗せ施設に戻る途中、車両前方から別の車両が飛び出してきたため、運転手が急ブレーキを踏んだ（交通事故には至らず）。被災者は後部座席で後ろ向いて利用者と話をしていたため、止まったはずみで前方に飛ばされ、手すり用のバーに脇腹を強打した。利用者はシートベルトをしていたが、被災者はしていなかった。	46	130201	100～ 299
9	9～ 10	原付バイクでメール便の配達中、狭い幅の道路で車とすれ違う際、バランスを崩してしまい足をついたため、バイクのステップで右足首の内側を強打した。	73	80205	30～ 49

9	17～ 18	マンションを配達後、バイクに戻ってエンジンをかけるため、キックしてエンジンをかけたがかからなかった。再度キックしたところ、足が滑ってキックレバーに右足ふくらはぎを強打し、右下腿部挫傷した。	43	110101	100～ 299
10	14～ 15	事務所から営業活動でお得意様へ車で向かう途中、交差点で信号待ちをしていたところ、2台後方の車の追突により、玉突きにて後方から追突された。	45	80101	10～ 29
10	17～ 18	冷凍冷蔵設備を修理中、作業工具をサービス車から運搬中携帯電話に着信有り、通話終了後再度作業工具を車から取ろうとした時サービスカーのバックドアの左角に頭をぶつけてしまった。	35	30302	50～ 99
10	7～8	養護学校の介助職として大型バスに乗車し、朝一番に乗られる生徒のバス停に回送進行中、渋滞にて停止する際にバランスを崩し座席から転げて床等に頭を当て負傷する。頭痛がひどくなった。	71	40202	100～ 299
10	11～ 12	勤務中に運転席に乗り込む際に車のドアに右眉付近をぶつけて負傷。4針縫う怪我を負う。	51	40201	500～ 999
10	18～ 19	就業場所から他店に業務上必要な商品を借りに行く途中、バスに乗ろうとした際、バスのステップに足をぶつけてしまった。1週間ほど湿布を貼り様子を見たが、腫れや痛みが引かなかった。	40	80302	30～ 49
10	15～ 16	車内のサイドステップの取り外し作業をしていた。その際にサイドステップについている金具に気付かず左手甲をぶつけ切ってしまった。	51	80202	100～ 299
10	9～ 10	郵便局内地下駐輪場で配達用のバイクの車両点検をしていた。前方のウインカーの点灯確認をした後、後方のウインカーとテールランプが点灯しているか確認しようと右後方へ振り向いた際に、右目が右隣にあったバイクのミラーに衝突した。右目涙小管を断裂する怪我を負った。	49	110101	300～ 499
10	10～ 11	現場に到着し、原付バイクを停める際、誤って体勢を崩し、車の荷台に手をついたときに左手親指を負傷した。	61	170201	30～ 49
10	16～ 17	石垣にぶつかり、石垣とバイクの間に左足親指が挟まり骨折した。	48	80205	10～ 29

10	11~ 12	地下駐車場から右折し出庫する際に、四輪自動車と衝突したもの。当方二輪車の右側と先方四輪車のフロント部分が衝突し、右足が挟まれ骨折したもの。	26	90101	30~ 49
11	13~ 14	2番ホールティーグラウンドから約230YDのフェアウェイの真ん中付近の丸い排水柵に右足をとられ転倒した。その後、業務を続行したが、業務終了時点で右足首に痛みが増してきた。	23	30203	30~ 49
11	17~ 18	車内確認後に運転席へ戻ろうとした際、運転席上のサンバイザー付け根部分が緩んでおり、数年前から修理改善要望が出ていたにもかかわらず改善されず、90度の角度に紐で吊り下げた状態となっていた為、振り返った時に左眼をサンバイザーの角で強打し負傷してしまった。	46	40202	100~ 299
11	14~ 15	当苑、玄関前駐車場において、送迎車輛を駐車しようとした際、シフト操作を誤り、外灯・フェンス・縁石をなぎ倒し、フェンスを突き破り、停車した。当日は、外傷がなかったため、そのまま帰宅したが、翌日、痛みが出てきた。	68	130201	50~ 99
11	13~ 14	出棺前お見送りホールの待機位置にバスを停車しようとして、バスを前進させたところ、右側面が壁に接触したためバックさせようとしたらエンジンの回転が上昇し、後ろの壁に激突した。	66	40209	10~ 29
11	3~4	バイクにて朝刊配達中、2.5m幅の下り坂の道路にて、運転操作を誤り、右側面の石壁にぶつかり転倒し負傷した。	60	80205	30~ 49
11	9~ 10	通所介護顧客の送迎業務中に交差点右折で進入した際、横断歩道横断中の歩行者がいることに気付き、ブレーキを掛けた。同乗していた同行職員は補助席に座っていた為、座席から身体が飛び出し左手で身体を支えようとしたことにより受傷する。	69	130201	100~ 299
12	8~9	朝の利用者様送迎時に、利用者様が乗車したあと、スタッフが着席する前に車が発車し、顔面を座席に強打した。	41	130201	1~9
		局内、地下バイク置場にて、バイクのキャリーボックスへ配達物を積み込んでいたところ、配達物の量が多くふたが閉まらず、ふたを閉めるた			300~

12	15~16	め、止め具にゴムを括り付けようとした。その際、バイクがバランスを崩して転倒し、支えようとして手を出したため、バイクにぶつけ負傷した。	50	110101	499
12	20~21	体調不良のため早退し、自家用車で帰宅しようとして駐車場から出口に向けて走行中、めまいがしてハンドル操作を誤り、空調の室外機に衝突した。	32	60101	300~ 499
12	20~21	派遣先において、帰宅途中の事故である。体調不良のため早退し、自家用車で帰宅しようとして駐車場から工場出口に向かって走行中、めまいがしてハンドル操作を誤り、空調の室外機に衝突した。	32	170101	300~ 499
12	16~17	現場の作業終了後、社用車で店舗に帰社しようとしたところ、車の前にあった2段積みブロックに気がつかず発進して（時速3km程）、衝突し、同乗した従業員が首が痛いと訴えた。当日に受診した結果、首の骨に異常はない（骨折していない）ことが確認された。	42	80209	1~9
12	18~19	送迎の添乗をしていたとき、左後方の座席に座っていた。運転手がバックした際、車の後方がマンションの壁（階段）にぶつかり、車体が大きく揺れ、首が後屈する姿勢となった。	22	130201	30~ 49
12	14~15	当該被災者は、乗務中、当日担当している車両に不具合が発生したため、営業所へ帰営し、車両の乗り換えの際、右肩に私物バッグを提げ、左足を前扉ステップに掛けようとしたところ、足を踏み外し負傷した。	43	40202	100~ 299

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_08.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html)